

令和3年度 第1回子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 令和3年7月12日(月) 14:00～15:50
- 会 場 沼田市役所4階401・402会議室
- 出席委員 小林会長、櫛渕副会長、井熊委員、小林委員、田部井委員、大城委員、高橋委員、田代委員、田辺委員、根岸委員、宮田委員、和田委員 12名
- 欠席委員 浅沼委員、神尾委員、見城委員、田中委員、西山委員、庭野委員、宮内委員、原澤委員 8名
- 事務局 矢代健康福祉部長
(子ども課) 金子課長、綿貫子育て支援係長、高木保育係長、馬場主査
(学校教育課) 角田課長
(健康課長) 齋藤課長
- 配布資料 ・事前配布資料 資料1・資料2・資料3
・当日配布資料 次第、委員名簿、里親パンフレット、
幼保小連携に関する話題提供(提案)

1 開 会 司会：金子課長

2 あいさつ

会 長 昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の関係で日程調整が難しく開催ができなかった。今年度は感染症対策を行いながら短時間のうちに開催したい。今日いくつかご審議いただくことがあるのでよろしくお願ひしたい。

部 長 今日は、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、市立保育園のあり方について、それぞれご説明をし、皆様からご意見をいただきたい。

委員・事務局自己紹介

3 議題 司会進行：小林会長

(1) 沼田市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

資料1 令和2年度実績に基づき、保育係長と子育て支援係長より説明

会 長 昨年度から第二期の計画が始まった。この会議は、検証をする大切な場となっている。昨年度は全く予想していなかった新型コロナウイルス感染症拡大ということで様々な事業ができなくて数値も変わってきている。委員の皆さんの意見をいただきたい。

委員 4ページの「利用者支援事業」については、箇所数の計画値になっているが相談件数などは把握しているのか。

事務局 2ヶ所とも相談件数等は把握している。次回の会議の時に相談件数をお示ししたい。

会長 令和3年度の実績値をみて、計画とあまりにも乖離するようなら、令和4年度、5年度の計画値を見直すこともあるということを念頭においてほしい。

(2) 沼田市立保育園の在り方について

資料2・3に基づき、保育係長より説明

会長 南保育園については民営化するということがあった。こちらについては、この会議の中でも何回か議論したが一旦中止ということである。東保育園については、すでに令和5年度で廃園になることで、園児数を減らしている流れになっている。説明の中で何かご質問があればお願いしたい。

委員 意見なし

事務局 本日、資料を見ていただいた状況なので、また改めて後日委員の皆様から意見をいただきたい。皆さんの意見を総体的にまとめて、子ども・子育て会議として意見をまとめていけたらと思っている。

委員 資料2の検討委員会は全部、市の職員である。これは民意の反映になるのか。

会長 私の感じ方ではそういうことではなく、行政中での行革推進本部の決定事項が変わってくるということなので、子ども・子育て会議においては、こういう委員さんからこういう意見がありますということを集約して、検討委員会だけではなくて、市長へも文書を出すという形で行いたい。我々の出した意見をすべて無視した形で検討委員会で結論を出したということになれば、さらに上の段階に申し入れをしたい。

委員 検討委員会に子ども・子育て会議のメンバーは入れないのか。

事務局 今回、子ども課を中心に関係する職員が検討しろということで検討委員会が設置された。市の職員なので財源的なことも施設の状況も子どもたちの数もみて、今後の状況はどうしたらよいか検討させていただく。

委員 保育園や幼稚園などの現場に来たことがない人が検討してわかるのか。

委員 今日の資料は部分部分切り出したものではないか。沼田市はお金がここにいくらかかっているのかという話をしてもらわないとわからない。

事務局 今回、お金の話は出させてもらっていない。

委員 形だけにならないようお願いしたい。これをいつまでに決めればいいのか。

事務局 実際には来年の2月に行政改革推進本部にこういう形で検討したという報告をしたい。

委員 検討委員会の議事録を開示してほしい。

事務局 会議の概要はお示しすることができると考えている。この後のスケジュール的なものをお示しさせていただいて、皆さんからご意見をいただくような形をお願いできればと思っている。それをまとめて、検討委員会の中で皆さんからいただいた意見をお示しし、検討委員会の方針を決定したい。

委員 今まで民営化について意見を聴かれていたが、今度は休止、中止になり、民営化に対して意見をするのか、廃園について意見するのか教えてもらわないと意見が出せない。今までも南保育園を民営化するけどお金はどうするのっていうのを教えてもらえないから意見を出せないというのを繰り返しきた。沼田市としてある程度方針が決まっているなら、それを提示してもらわないと意見が出しづらいなというのが正直なところ。

委員 検討委員会の途中経過を子ども・子育て会議で報告してほしい。部長が委員長なので、途中で委員の皆さんの意見を聴いてほしい。

事務局 一度今までの方針を止めて、もう一度検討しなさというのが検討委員会の発足のスタートになっている。私どももどういった方針がよいのか検討できていないというところである。皆さんにまた集まっていただくことになるのですが。

委員 真っ新の状態で意見を出すというのは難しいので現状、市が把握している、分析している内容とか問題点を出してもらいたい。なぜこういう議論をしているのかということがわかれば意見が出しやすくなる。

会長 子ども課の方から意見聴取をしてもらい、10月末が今の委員の任期なので10月いっぱい意見をまとめたいと考えている。

4 その他

資料 幼保小連携に関する話題提供（提案）により榎渕委員から説明

榎渕委員 3点ある。まず1点目は「気になる子の情報共有フォームの作成」年々こういう気になる子が増えている状況がある中で小学校と幼稚園、保育園は情報共有のひな形があることによって、そういう子は療育施設等にも通っているので、そういう所とも連携が取りやすくなるということで一つ提案をさせてもらった。2点目は「小学校進学に向けた保護者向け啓発リーフレットの作成」。平成30年度に幼稚園教育要領の改訂があり、幼稚園、保育園での遊びが小学校にもつながることが示されている。保護者がそういうことを知らないので、保護者にも協力してもらえるといいなあということで、他市の例を取り上げているが沼田だけ特別ではないので、リーフレットを作成し活用できたらよい。3点目は、「引き渡し訓練の合同実施」ということですが、中学校単位で行っているが幼稚園、保育園は基本的に入っていない。災害は学区単位でおこるわけではないので全市一斉にできるとよい。

学校教育課長 資料を4つ用意しているが、資料1は、国のほうの資料になる。幼稚園や保育園は学校教育の基礎を培う、それをみて小中高へということでも考えている。では、実際に気になる子についてはというと、資料2にあたるが、市教育委員会はその園にもということで5歳児を対象として、個人調査票を園にお渡ししている。それを集約して就学先の学校へ情報提供している。今年度も71名いた。沼田市では、5歳児の調査票が共有フォームということになる。学校によってはもっと細かいことを聞きたいということがあり、学校独自に行っている。資料3は気になる子の

学級をどういうふうに決めていくかという判断だが、基本的には就学児健診で診て、配慮が必要なお子さんについては、さらに詳しい情報を収集し、1月くらいを目安に特別支援学級や通級指導教室をお勧めする。情報共有のフォームをもとに就学先を決めていくというパターンが今やっていることである。資料3は、保護者に今までおおまかな流れを説明しなかった。このような資料を就学児健診の時に渡すこともできるとよいということを今検討している。資料4は、利根小学校と利根保育園が行っているスタートカリキュラムである。

引渡し訓練の実施は、今年度は5月31日に南中区と西中区で行い、小学校は3つ沼小、川田小、升形小、利南幼稚園の6校幼稚園で、いつ発生するか、どういう順番で引渡しをするかということを共通して行った。保育園についても実施も可能なのではないかと思う。

委員

 良いことなので、ぜひ学童にも反映させてほしい。

5 閉 会